

## 資料1－8

# 基盤整備の実施状況について

2016年7月29日

---

東京電力ホールディングス株式会社

今後長期にわたる廃炉作業を確実に進めるため、その基盤を整備していくことが必要であり、応急的に設置した設備も含め、設備の信頼性向上等に取り組んでいる。

この基盤整備の取り組みの内、主な項目として以下について現在の進捗状況を次頁以降に示す。

1. 設備のデータベースと保全計画の策定状況
2. 耐圧ホースの取り替えについて
3. ケーブル対策状況
4. 組織体制見直し

# 1. 設備のデータベースと設備保全計画の策定状況

## ・ 個々の設備の保全計画

- 仮設の設備を含め、当社が管理する設備について2015年7月末に保全計画の作成が完了。新規設備設置、設備改造・撤去、保全内容見直し等については適宜保全計画へ反映。

## ・ 図面類の整備

- 当社が設備を運営するために必要な図面（マスター図※）の初期整備については、2015年度中に整備をほぼ完了。残りの低圧系ケーブル配置図については、ケーブル引き替えと連携して整備を進める。尚、新規設備設置、設備改造・撤去、等による図面修正についても適宜反映していく

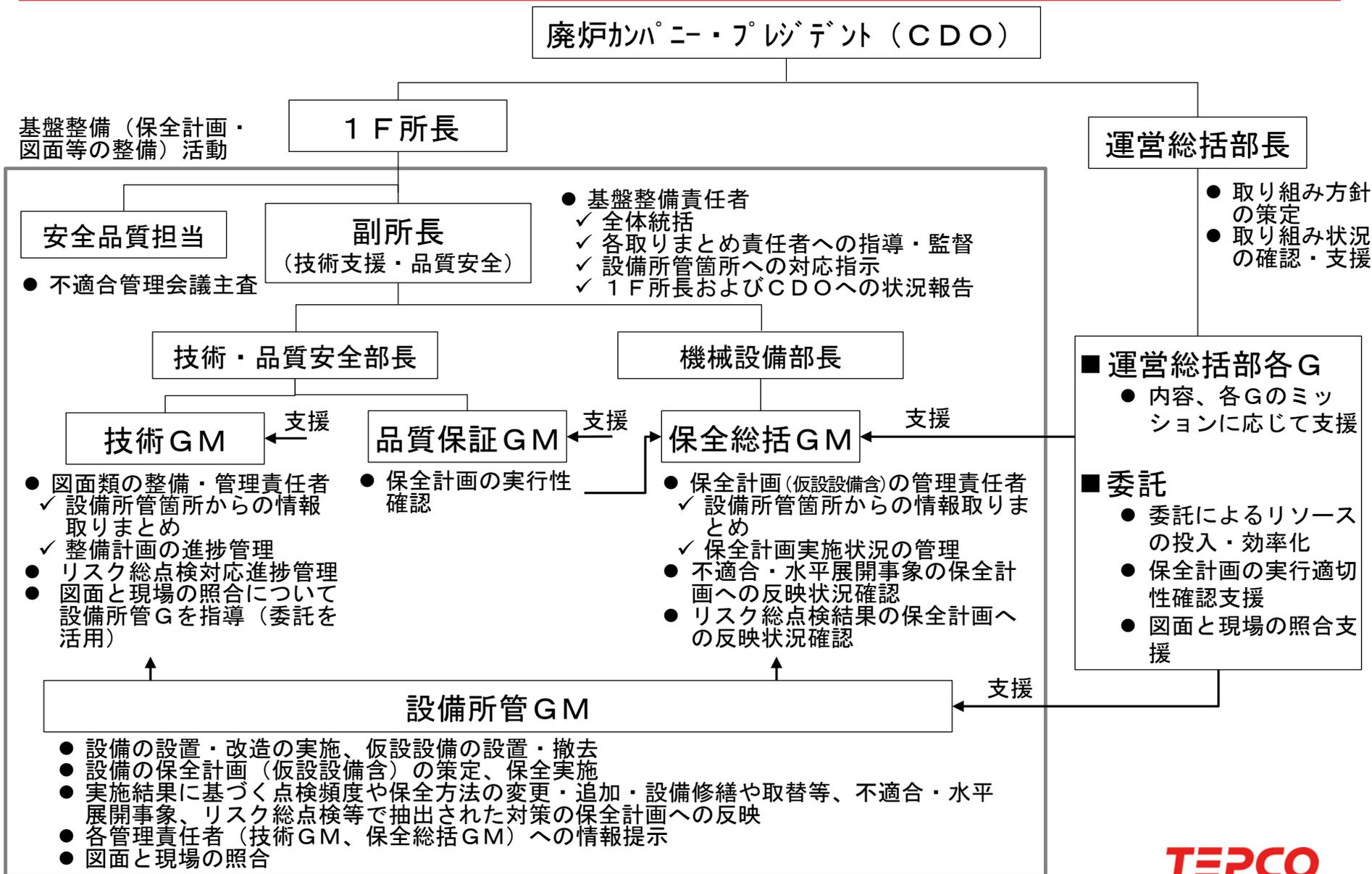
※：マスター図

- 単線結線図：高圧（M/C・P/C）、低圧（MCC他）
- P&ID：炉注設備・SF<sub>6</sub>冷却設備・N<sub>2</sub>封入設備等冷却設備、KURION・SARRY・ALPS・凍土壁等水処理設備、焼却設備、その他設備
- 配置図：建物配置図、電源・配管等ルート図、機器配置図、埋設管理図

## ・ 構内専用車両等のデータベース

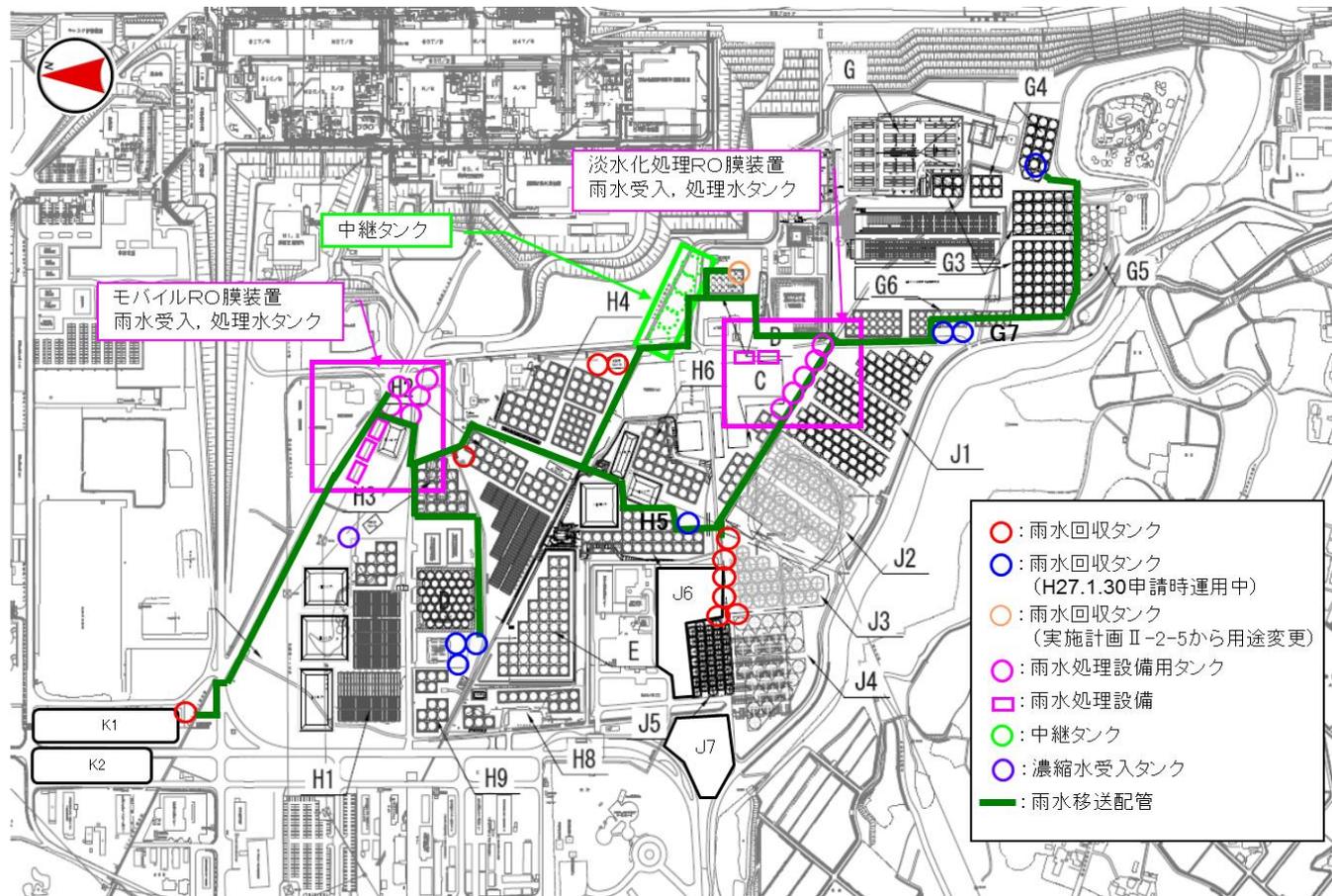
- 構内専用車両について、全ての車両を永久抹消し、当社発行の「赤ステッカー」を貼り付けし、台帳管理を実施（データベース化）済み。
- 構内建設車両（重機）について、データベース化済み。台帳管理を実施。

# 1. <参考>設備等の維持管理体制



## 2-1. 耐圧ホースのPE管切り替えについて

- 現在、雨水移送ラインの耐圧ホースについては、PE管への切り替えを進めている。計画範囲の3割程度（約5km/約15km）完了していて、準備が整い次第、使用前検査を受検し、運用開始する予定。  
今後、新規タンクエリアについても、順次計画し、切り替えを実施していく。



雨水PE管 概略配置図

## 2-2. 耐圧ホースの取り替えについて

---

- PE管への切り替えまでの間、耐圧ホースの運用にあたっては、「耐圧ホース運用管理ガイド」に従い、日常点検、定期点検をしながら管理した状態で運用している。
- ホースは本来消耗品であるとの認識に立ち、使用開始から2年経過するホースについては順次取り替えを実施中。  
(2016年度中に取り替えが必要な35ラインについて2016.7.14に取り替え完了)
- 今後も、タンクリプレイス、新設に合わせてホースを敷設し運用していくため、PE管への移行が全て完了するまでの間、継続的にホースを運用する場合には、ガイドに従い適切に管理していく。

### 3. ケーブル対策状況

#### (1) 高圧ケーブル電路状況

震災直後

現在

①地這エフレックス



②門型架台(重要連系線)



③壁面へのサポート固縛(2012年度以降)



④トラフ設置(2013年以降の新設電路)



震災直後の緊急復旧のため、高圧ケーブル収納のエフレックスを地這いさせている箇所がある。

### 3. ケーブル対策状況

#### (2) 高圧ケーブル基盤整備について

##### a. 高圧注意表示取付

地這高圧エフレックス管に高圧注意表示を取付実施  
(2015年度完了)



##### b. 地這高圧ケーブル電路改造

##### ① トラフへの収納による電路強化

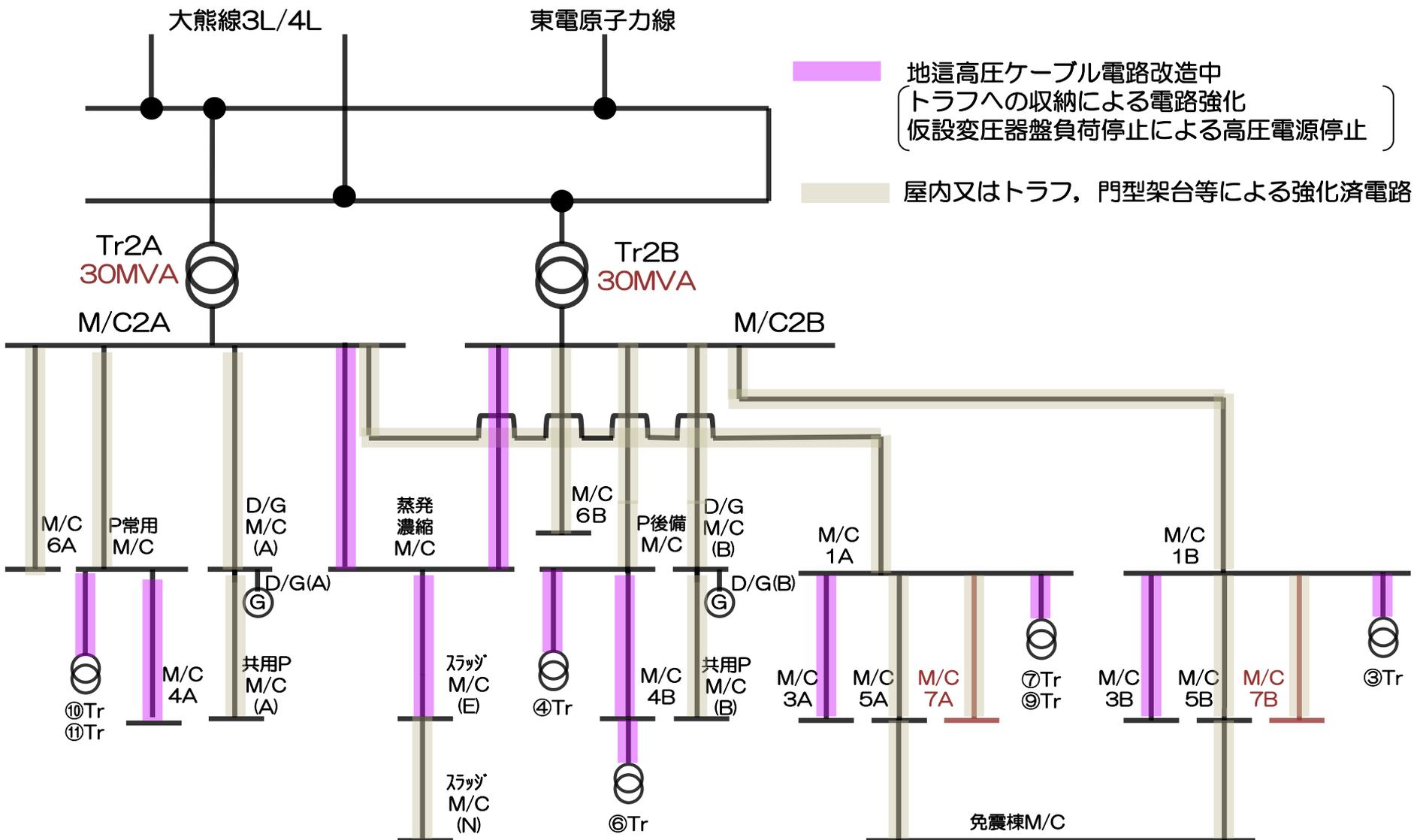
樹脂製トラフを布設し、その中へ地這エフレックスを収納する。(実施中 2016年度完了予定)



##### ② 仮設変圧器盤負荷停止による高圧電源停止

仮設変圧器盤の負荷移設を行い、当該地這高圧ケーブルを停止する。(実施中 2016年度完了予定)

### 3. <参考> 電路強化対策の対応単結



# 4. 組織変更の概要

## ● 変更のポイント

- ✓ 水処理運営部に、水処理設備の運転・監視・巡視等の管理業務を集約
- ✓ 水処理運営部に当直を設置
- ✓ 水処理設備部に、水処理設備の保守管理業務を集約

